



アヒル 見つけやすさ：★★★★★

特徴：杖ノ淵公園には、白色でくちばしと水かきが黄色いシロアヒルと首が緑色で胸が茶色のアオクビアヒルがいる。

見つけ方 公園奥の水路で泳いだり、エサを食ったりしている。

アメンボ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：水たまりから池、川、海まで幅広く生息している生物。6本の脚の中で中脚と後脚が体長より長い。



見つけ方 6本の足で水面を浮いているように進む。

タカハヤ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：全体的に暗褐色でまだらに斑点があり、めめりが強い。体長は最大でも15cm未滿。

見つけ方 5~12cm程度の大きさのものが多く、細長い体型。



カワムツ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：全長は10~15cmほど。オスは20cm程度になることも。体側の中央に暗く太い縦の線があるのが特徴。

見つけ方 顔が丸く、胸ビレ腹ビレが黄色みを帯びている。



ニシキゴイ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：観賞用に養殖されたコイで、野生に比べ、体色がカラフル。

見つけ方 湧水池のほか、公園奥の水路にも泳いでいる。



春・夏に見つけてみよう!! 杖ノ淵の水辺の いきものたち



ハグロトンボ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：全体が黒つばく、主に初夏~初秋にかけて水辺でよく見かけるトンボの一種。水のなかに卵を産み、幼虫であるヤゴは緩やかな流れのなかにいる。

見つけ方 黒い羽で、水面の草や石の周辺を飛んでいる。



暖かい春・夏の季節は生物がたくさんおそぞそ~!



菅 晃
NPO法人愛媛昆虫調査研究機構理事長。レッドデータブック調査員や松山市エコリーダーとしても幅広く活動。水生生物に詳しく、体験教室やボランティア活動にも携わる。



オイカワ/雄(繁殖期)



オイカワ/雌

オイカワ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：動きが早く、川や湖、池などに広く生息。繁殖期の雄はヒレが赤く身体が水色になるなど独特の色になる。

見つけ方 上から見た時にヒレが大きく広がって見える。



ギンブナ 見つけやすさ：★★★★★

特徴：ほとんどがメスで、オスの数が少ないフナ。10~25cmとフナのなかではやや小さめのサイズ。

見つけ方 ほかの魚よりも底にいることが多い。

水生生物博士 菅さんアドバイス

杖ノ淵に多く見られるカワムツやオイカワ、タカハヤはすべてコイ科の魚。ヒレや顔の形などに違いや特徴が表れやすいので、ぜひ観察してみてください。



ボクCheck!!

公園奥にはアヒルやコイがいる水路があるよ。水がキレイで、泳いでいる魚も見え、めずらしい植物のティレギもここにあるよ。

杖ノ淵公園へ 行くぞ!!

水辺の生物・植物探しや水遊びをして元気よく遊ぼう!

「特集」



DATA ☎ 089-948-6499 (公園緑地課)
住所 松山市南高井町1352
営業時間 9時~19時(4月~9月)、9時~17時(10月~3月)
休 無休 台 38台 料 無料
アクセス
①(車の場合) 国道33号線を砥部方面へ→県道森松重信193号線左折(約5分)
②(バスの場合) 松山市駅から伊予鉄バス砥部線えひめこどもの城/断崖口行き森松下車乗換、森松・横河原線木地行き杖ノ淵公園前下車

松山市南高井町杖ノ淵公園

弘法大師が杖を突き立てたら水が湧き出したという伝説から命名された「杖ノ淵」。園内には自由に水遊びができる親水広場があり、木陰も多いので、暑い夏でも涼しく過ごせる人気のスポットです。湧水池や奥の水路には魚やアヒルが生息しています。また、園内には緑も多く、芝生広場や遊具のある子供広場などもあり、憩いの場となっています。

●今回の公園ナビゲーター



花や植物はおまかせ!
松山東雲短期大学
植生学研究室
松井 宏光 教授



水生生物はおまかせ!
NPO法人愛媛昆虫
調査研究機構
菅 晃 理事長

